

NHK交響楽団第1コンサートマスター

マロと愉快的仲間たちによる クリスマスコンサート

～最強のトリオが奏でる、アレンスキー魅惑の名曲～

2020年 12月 19日 (土)
15:00 開演 (14:00 開場)

会場：加東市東条文化会館
コスミックホール

入場料

一般：3,000円

高校生以下：1,500円 (全席指定・税込)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※やむを得ない事情により曲目、出演者等が変更になる場合がございます。

※高校生以下の方は購入時に学生証のご提示をお願いする場合がございます。

※ソーシャルディスタンス確保のため、定員を客席数の7割程度といたします。

[発売日] 10月19日(月)10:00～

※電話予約受付開始時刻 13:00～

チケット取扱い

東条文化会館：0795-47-1500

〒673-1311 兵庫県加東市天神66

※休館日：水曜日・祝日の翌日

※購入後のキャンセル、再発行不可

Program

シューベルト：「白鳥の歌」よりセレナーデ

ラフ：カヴァティーナ

アレンスキー：ピアノ三重奏曲 第1番 二短調 作品32

篠崎 史紀[MARO]
(ヴァイオリン)

桑田 歩
(チェロ)

入江 一雄
(ピアノ)

「写真提供：上田市交流文化芸術センター(サントミュージゼ)」

主催：特定非営利活動法人 新しい風かとう
後援：加東市教育委員会、神戸新聞社、ラジオ関西

篠崎 史紀 [MARO] (Violin)

愛称 "まろ"。NHK交響楽団第1コンサートマスター。3歳より両親の手ほどきを受ける。北九州市民文化賞を史上最年少で受賞。ウィーン市立音楽院に入学。翌年コンツェルト・ハウスでコンサート・デビューを飾り、その後ヨーロッパの主要なコンクールで数々の受賞を果たす。83年アメリカデビュー、その後ヨーロッパを中心に活動を広げ、88年帰国後、群馬交響楽団、読売日本交響楽団のコンサートマスターを経て、97年 NHK交響楽団のコンサートマスターに就任。以来、"N響の顔"として、ソリスト、室内楽奏者、指導者として、国内外で活躍中。多岐にわたる演奏活動の傍ら、東京ジュニアオーケストラ・ソサイエティの芸術監督を務める他、CD13枚他、ヴァイオリン小品集「MARO's Palette」(監修)、エッセイ「ルフトパウゼ ウィーンの風に吹かれて」、「絶対!うまくなるヴァイオリン 100のコツ」が出版されている。2001年福岡県文化賞受賞、2014年第34回有馬賞を受賞。北九州文化大使、桐朋学園非常勤講師、東京藝術大学非常勤講師、昭和音大客員教授。WHO国際医学アカデミー・ライフハーモニーサイエンス評議会議員。

桑田 歩 (Cello)

土浦市に生まれる。3歳よりヴァイオリンを、8歳よりチェロを父、桑田 晶に手ほどきを受ける。東京音楽大学を経て1987年にウィーン市立音楽院に留学。同地にてリサイタルを開催する他、オランダ放送TVに出演。第10回霧島国際音楽祭にて特別賞を、イタリアのキジアーナ音楽院にて最優秀名誉賞を受賞。チェロを堀了介、J.バイロフ、D.シャフランの各氏に、室内楽をR.ブレンゴラ氏に師事。1991年に帰国。群馬交響楽団及び新星日本交響楽団(現 東京フィル)の首席奏者を歴任し、定期演奏会等にてソリストとしても度々出演する。読売日響、東京都響、新日本フィル、東京響、大阪フィルなどの客演首席奏者を度々務める。第68回日本音楽コンクール作曲部門の作品演奏に対して委員会特別賞を受賞。1999年よりNHK交響楽団のチェロ奏者に就任し、2020年の5月に退団するまで次席奏者および首席代行奏者を務めた。

室内楽奏者として、またN響のチェリスト4人で結成された《ラ.クアルティエーナ》のメンバーとして20枚近くのCDをリリースしている他、ソロ曲集《ヴォカリーズ》《メロディー》《ポーランドの歌》をリリースし、いずれも高い評価を得ている。筑波ジュニアオーケストラ音楽監督。昭和音楽大学客員教授。

入江 一雄 (Piano)

東京藝術大学・大学院を首席で卒業・修了後、RMF(ROOM)・文化庁より助成を受けモスクワ音楽院へ留学。16年夏に修了シディプロマ取得。第77回日本音コン第1位、第1回CWPM第5位など受賞多数。プロコフィエフピアノソナタ全曲演奏会などのソロ活動に加え、国内主要オーケストラや篠崎史紀氏らをはじめとする国内外の演奏家らとの共演も多く、演奏活動は多岐に渡る。

これまでに植田克己、エリソ・ヴィルサラーゼら著名な音楽家に師事。現在、東京藝術大学・昭和音楽大学非常勤講師。銀座王子ホールレジデンス「ステラ・トリオ」メンバー。

アレンスキー:ピアノ三重奏曲 第1番 二短調 作品32

アレンスキー本人が演奏家でもあったため、ピアノのパートが超絶技巧的に書かれており、第1楽章の冒頭から、名人技を駆使して動くピアノ、朗々と歌わせる弦楽器は、まるでロシアの広大な大草原を思わせるようなロマンティシズムを感じさせます。とくに第3楽章《エレジー》は、チェロから始まる哀愁漂うメロディが人々の心を掴み、その後も天上の音楽とも言える美しい旋律を奏でます。

作曲法の講師としてモスクワ音楽院在任中には、ラフマニノフやグレチャニノフなど多くの逸材を輩出したアレンスキー。その後、サンクトペテルブルク宮廷礼拝堂の楽長にまで就任したロマン派真っ只中の作曲家でありながら、時代の波に押され多くの優れた作品が埋もれてしまいました。

今回採り上げるピアノ三重奏曲第1番は、1889年にモスクワで死去した名チェリスト、カルル・ダヴィドフの追悼のために作曲されました。

さざ波のようなピアノの旋律、憂いを帯びたヴァイオリンの響き、美しく儂く歌い上げるようなチェロの音色…と、アレンスキーの魅力溢れる作品です。

[お問い合わせ・チケット購入]

加東市東条文化会館コスミックホール
指定管理団体:NPO法人 新しい風かとう
〒673-1311 兵庫県加東市天神66
TEL:0795-47-1500
FAX:0795-47-1617
(受付9:00~17:00/定休日:水曜日・祝日の翌日)

一アクセス

[ハイウェイバス]

「高速東条」下車、徒歩5分

大阪方面からお越しの場合

・JR大阪駅・新大阪駅より

津山・西脇・北条・滝野社IC行約60分~90分

神戸方面からお越しの場合

・神姫バス神戸三宮バスターミナルより山崎行約50分

お車でお越しの場合「ひょうご東条インター」より約10分

